



おおねじめ

昭和57年 2月号

No.349

町の人口（2月1日現在）

男 4,624

女 5,157

計 9,781

発行 肝属郡大根占町役場

題字町長

12月1日より37人減



わーい!!

雪がつもった

子供たちが校庭で

はしゃいでいる

めずらしい積雪なのだ

雪だるまを作る子供

雪合戦をしている子供

寒さも冷たさも忘れ

元気いっぱい

雪を楽しんでいる

池田、宿利原地区ならではの

光景だ

写真提供

池田小学校長

森田 慶信

次代を担う

新成人二百十八人を祝う

今年大根占町で大人の仲間入りをしたのは二百十八人、(男百九人、女百九人)その新成人百八十三人を迎えた成人式が、一月三日町農村勤労福祉センターで開催されました。

式典では、川辺盛康町長が「大人の仲間入りをされた皆



「青春の思い出を、町青年団活動で」と話す白川裕美団長

さんは、自分の地域社会における役割を考慮し、自らを律し、権利だけを主張せず、義務をしっかりと果たして人間味のある社会人となつて下さい。そして皆さんと共に明るく住みよい郷土づくりに頑張りますよ。」とあいさつ。つづいて町議会議員、青年団、婦人会の代表者の励ましのことがありました。これに続いて新成人の満留満春さん(神川中・役場勤務)が、「りっぱに育ててくれた

「タイムカプセル」を開く
大根占小の卒業生

成人式に参加した大根占小学校の卒業生約四十人は、同小学校卒業当時、校庭に埋めておいたタイムカプセルを開き起こしました。タイムカプセルの中には、図画、作文のほか日記帳、写真、当事使った教科書などいろいろな思い出の品が入っていました。タイムカプセルの中身は、当日行われた同窓会の席でそれぞれ個人に返され、思い思いの品を手にお互いに見せ合いながら当時の思い出話に花が咲き、楽しい同窓会であったようです。

さった両親に感謝し、社会人としての権利と義務をもって地域社会に貢献します。」と力強く誓いの言葉を述べ式典を終りました。若者のついでには、私の主張として、新成人の岡元英樹さん(神川中・役場勤務)迫千賀子さん(山ノ口・すずしろの里勤務)と町青年団員の竹原政洋さん(岩元・農業)と大久保富士子さん(大久保農協勤務)が意見発表をしました。

また、新成人の皆さんへ本町桜原出身の宮下和志さんから「成人よ自信を持って」という励ましの言葉が寄せられました。



自己の確立をめざす

新成人 岡元英樹

町役場勤務

いきなにと考えています。学校生活という特殊な生活での体験や慣習は、実社会では通用しないものがあります。就職すれば、与えられた仕事を自分の義務として遂行しなければなりません。学校生活では、何といつても勉強することが主であり、実社会で働くことになれば仕事をすることが主になります。与えられた仕事についてよく理解し、的確に処理できるようにしたい

ために貢献することにもなります。勤務は自分自身のためばかりでなく、人のため社会のためにもなることを考える。働くことに大きな喜びと責任を感じます。成人として、踏みだすに当って理想と現実との矛盾に悩みながら自己の確立をめざして地道に努力していく覚悟です。

お知らせ

所得税贈与税の申告

納税は「三月十五日」まで

昭和五十六年分の所得税、贈与税の申告が始まりました。この申告と納税期限は「三月十五日」までです。期限間近になりますと税務署が混雑します。申告と納税の相談日は次のとおりです。

※所得税の申告・納税相談
期日 2月24日・25日の両日

場所 役場会議室で

※贈与税の申告・納税相談
期日 2月17日(水曜日)

場所 根占町民センター
大会議室で

県税の滞納は

早めに納めましょう

鹿屋財務事務所では、県の方針にそって、一月から三月までを県税滞納整理特別対策月間として「県税滞納整理特別班」を設置し、全職員一体となって、滞納者の一掃に全力をあげています。

納税者の皆さん!! 税負担の公平と収収への確保を図る

ため、納税にご理解とご協力をお願いいたします。納税の相談は早めをお願いいたします。

気になる学べる西高へ

新入生(通信制)募集

県立鹿児島西高校

修学年限 四年以上

入学資格

。中学校卒業

。高校中退 旧制中学校

。高等女学校 青年学校の

卒業生及び修了者

。高等学校の卒業生で、も

つと教養を高めた者、

又は一部の科目の学習を

したい者

学科

。普通科(一般の入学)

。衛生看護科(看護学校

の入学)

。農業経営学科(鹿児島県

農業大学専修科で農業経

営者としての学習をして

いる生徒

募集期間

。昭和五十七年三月二十日

から四月十五日まで

入学許可

。書類審査による

生徒の現況

。在学生二千三百余人、卒業生一千七百人、在学生

の年齢十五歳から六十五歳まで、職業は看護婦、自営業美容、主婦と多種である。

※ 鹿児島市伊敷町四四一四

県立鹿児島西高等学校

通信制入学係へ

電話 〇九九二二九一三七四四

① 入学案内書等の請求

。直接又は郵便で申し込んでください。

補助造林の
申し込みを受付中

森林組合

植林の適期となりました。

森林組合では、現在補助造林

の申し込みを受けています。

十アール当たりの補助金は

次のとおりです。

◎拡大造林(雑木林、雑竹林

の伐採跡地・松くい虫の被害

跡地・原野など)

補助率 六十八パーセント

補助金 二万五千円/二

万七千円

◎再造林(スギ・ヒノキの伐

採跡地)

補助率 三十二パーセント

補助金 一万二千円/一

万三千円

◎くぬぎ造林には、奨励金三

千円が支給されます。

「生きがい」を
見つけて

私がまだ幼い頃、また現在においても「さすが大人の女性だなあ」と憧れを持つことも多くありますが、ほんの少数の大人に対して、何となく合点のいかないうちに、卑



尊敬される大人に

新成人

迫 千賀子

すずしろの里勤務

この意志

きょうだとか、ずるき、身勝手なところを知り、自分はこのまま大きくなりたいくないと思つた事があります。これから育つ子供達の「大人になる夢」をできるだけ壊さないためにも、自分で責任の持てる言動を心がけていきたいものです。

今の私たちでも、ヨボヨボのおじいさんでも、確かに人はそれぞれに精一杯生きています。そのなかで、自分なりに楽しみとする生き

がいとなるものが皆あるはず。仕事や趣味を生きがいにすることは多いことですがひとりの母親であれば子供の成長もひとつの生きがいといえるでしょう。

私は今、身体障害者の療護施設に勤めています。多くの障害者と接している中で、はたから見れば不自由さばかりが目について、何の楽しみがあるかわかればがちですが、みんなそれぞれに何かをやるうと必死なのです。自分ので

きる範囲で趣味を見つけてうと努力している。この意志の強さには感心します。こんな重度の障害者でも、こんなに精一杯生きています。生きることの第一条件、「健康」を備え、まして成人を迎えた私たちであれば何でもできるはず。社会の一員としての自分を認めたい。自分なりに、精一杯生きていく、そのよりどころとして自分の信念とする生きがいを見つけて行くことが、一番の幸福への道だと私は思います。

「インフルエンザ」に注意を!!

- 一段と寒さが厳しくなり、インフルエンザにかかりやすい時期になりました。インフルエンザを防ぐため次のことに注意しましょう。
- ◎ 手洗いやうがいを充分にしましょう。
 - ◎ インフルエンザの誘因（湯ざめ、冷えこみ、気候、気温の変化、うす着、過労、気のゆるみ、うたたねなど）体が衰弱し、抵抗力が弱くなるようなことをしないように心がけましょう。
 - ◎ インフルエンザにかかったらすみやかに医師の診療を受けましょう。
 - ◎ 安静、保温、栄養は治療の三大原則です。
 - ◎ 他人への感染防止のため、マスクを使用しましょう。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

善意の話題

町社協へ

社会福祉事業に役立てて下さいと次の方々から、香典返しにかえ寄付がありました。厚くお礼申し上げます。故人のごめい福を祈ります。

() は故人

半下石ミチ子(篤) 半下石
永吉 勇(ムメ) 命 苦
上玉利 優(シオ) 落 河
外山 年江(重明) 木 場
馬込 実(明) 笹 原

すずしろの里へ

大山 幸一(金三助) 麓
木下 恒男(段オトマツ)
川上 才藏(キヨ) 川 南
山下フユ子(辰二) 神二区
寺 前

県ボランティア活動センター
から 洗 剤
大根占町春日流おどり同好会
から タオル
川辺地区家庭奉仕員から
みかん